

2026年3月6日

【胎児発育不全に対する分娩様式の選択と経膈分娩成功率に関する後方視的研究】

に対するご協力をお願い

研究代表者 所属 国立成育医療研究センター 職名 産科医員
氏名 東 裕福

このたび、日本産科婦人科学会データベース事業（周産期登録）を用いた下記の医学系研究を、日本産科婦人科学会の許可ならびに国立成育医療研究センターの研究機関長研究実施許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を診療を受けた施設までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

西暦 2020 年 1 月 1 日より 2024 年 12 月 31 日までの間に、周産期登録参加施設で経膈分娩または帝王切開された方です。ご自身が周産期登録参加施設で分娩されているかどうかは公益社団法人 日本産科婦人科学会ホームページの施設検索のページから調べることができます。

https://jsog.members-web.com/hp/search_facility

2 研究課題名：胎児発育不全に対する分娩様式の選択と経膈分娩成功率に関する後方視的研究

施設倫理審査委員会の承認番号 2025-306

日本産科婦人科学会の許可番号 191

3 研究実施機関：国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター 責任者：東 裕福

4 本研究の意義、目的、方法

本研究の目的は、胎児発育不全に対する分娩様式（経膈分娩または帝王切開）について、それぞれの割合を明らかにし、緊急帝王切開となるリスクを明らかにすることです。日本産科婦人科学会の周産期登録データベース（2020～2024年）に登録されている胎児発育不全の分娩データを用いて、胎児発育不全での経膈分娩の割合やその成功率を抽出するとともに、母体背景などの周産期因子の抽出を行います。

5 協力をお願いする内容

以下に挙げる臨床情報を研究に利用しますが、これらの情報は基本的に周産期登録で各施設から登録されている情報です。よって新たな情報を収集するために個別に聴取することやアンケートなどを送付することはありません。

・母体情報：分娩時年齢、身長、非妊時及び分娩時体重、既往歴（高血圧・糖尿病・腎臓病など）、喫煙の有無、産科合併症（妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、胎盤位置異常など）の有無、感染症（TORCH 症候群など）の有無、使用薬剤（ステロイド、塩酸リトドリン、硫酸マグネシウム、降圧薬、アスピリン、ヘパリン、インスリンなど）の有無、妊娠・出産歴、妊娠方法、分娩時週数、分娩方法、無痛分娩の有無、分娩時胎位、分娩方法（経膈自然分娩・器械分娩・選択的帝王切開・緊急帝王切開）、帝王切開の適応、分娩時出血量、陣痛誘発・促進、胎児心拍数波形レベル分類

・胎児・新生児情報：性別、出生体重、先天性疾患の有無、染色体異常の有無、週数毎の出生体重のパーセンタイル、Apgar スコア（1 分値、5 分値）、臍帯動脈血 pH、NICU 入院率、新生児死亡率、有害転帰の発症率（脳室内出血、呼吸窮迫症候群など）

6 本研究の実施期間：研究機関の長の研究実施許可後～2028 年 3 月 31 日

7 プライバシーの保護について

本研究で取り扱う患者さんの情報は個人情報をすべて削除し、第 3 者にはどなたのものか一切わからない形で日本産科婦人科学会から提供され、使用します。患者さんの情報と個人情報を連結させることはありません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、【情報の利用や他の研究機関への提供（研究内容に応じて適宜記載）】の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合は診療のために受診された施設へのご連絡をお願いいたします。申し出があった場合、それ以降はこの研究のために情報を用いられることはありません。ただし、既に研究結果が論文などで公表されていた場合には研究結果を破棄できないことがあります。

研究代表者
国立成育医療研究センター 産科
東 裕福

TEL: 03-3416-0181

FAX: 03-3416-2222

日本産科婦人科学会事務局

TEL: 03-4330-2864

FAX: 03-4330-2865

Email: nissanfu@jsog.or.jp